

研究会の3年目の活動が本格的に始まりました

ごあいさつ

海外水ビジネス研究会のNEWS LETTER第2号をお届けします。各地での提言報告会の開催、WG活動のミーティングなど研究会3年目の活動が本格化しています。NEWS LETTERは、引き続き、皆様への情報提供の場として随時発信して参りますので、よろしくお願いたします。

京都で提言報告会を開催します

(一社)京都知恵産業創造の森が開催する「スマートインフラ関連セミナー」で、海外水ビジネス研究会の提言を取り上げていただきます。

- 日時：2019年11月6日<水> 14:00～16:00 受付開始 13:30～
- 会場：京都経済センター 4階 4-E 会議室
- 定員：25名程度
- 対象者：水・エネルギー事業の海外展開に興味のある中堅・中小企業の経営者、管理職、大学生

プログラム

- 講演1 「水道事業とは」
株式会社 ギエモンプロ 代表 森本 達男
- 講演2 「海外水ビジネス研究会の提言」
海外水ビジネス研究会共同代表
W&E研究所 代表 山村 尊房
- 講演3 「ストラクチャーモデルのその後とこれから」
海外水ビジネス研究会共同代表 工藤 克典

規制改革・自由化等WG第1回を開催

規制緩和、自由化、PPP、民営化WGの第一回ミーティングを10月17日にオリーブ会議室で開催し、9名（うち1名はスカイプ経由）が参加しました。海外での水ビジネスを展開する上で、将来の水道事業のあり方を幅広く考えていくことも必要不可欠であり、視野を広げて、電力、ガス、通信など公益事業全般の規制緩和、自由化、PPP、民営化の動向および関連する重要事項を研究することにしています。次回開催は12月19日です。

【オリーブ会議室@神保町】

<https://www.instabase.jp/space/3326099469/catalog>

今後の活動予定

- 11月21日（木）ベトナムWGミーティング
12時～14時 場所：オリーブ会議室@神保町
- 12月18日（水）ひょうご次世代産業高度化プロジェクト 第2回セミナー「日本の海外水ビジネスの発展に向けた提言」場所：神戸市内
- 12月19日（木）規制改革・自由化等WG第2回 12時～14時 場所：オリーブ会議室@神保町

名古屋での提言報告会の実施（報告）

提言を活用するため、各地の水関係の組織とタイアップして報告会の開催を行っています。去る9月30日には名古屋で、「水のいのちとものづくり中部フォーラム」のセミナーとして提言報告会が実施されました。開催場所は、同フォーラムの中心組織である中部経済連合会のある名古屋栄ビルディングの特別会議室でした。

研究会からは、共同代表の山村尊房（W&E研究所）及び工藤克典（貿易投資金融アドバイザー）と研究会オブザーバーの宇野安氏（UNOアナリシス代表）が講師として参加し、「海外水ビジネスの推進に向けた提言」について山村講師から、「海外水ビジネス研究会のストラクチャーモデル（中間報告会で発表）のその後とこれからについて」について工藤講師から発表しました。宇野氏は今後の活動の参考になる「海外水ビジネスの潮流—大手商社の水ビジネスの動向、世銀グループの官民連携支援の背景」について発表しました。

後半のパネルディスカッションでは司会を同フォーラム顧問の山田雅雄氏が務め、山田顧問からの「ODAで水ビジネスを考えていたことに反省する機会になった。」との発言に続き、商社と水道事業体との連携にまず焦点が当てられました。工藤講師からは「水道事業体には議会や住民対策という制約があり、ストラクチャーモデルでは、出資を現物出資に置き換えることによって水道事業体が現金出資の資金を負担しなくても良い方法（出資者としての権利と義務はあり）を考えている。」ことが説明され、山村講師は、「ビジネスを商社と水道事業体が一緒にやっていく提言は、決して荒唐無稽な話ではなく、水道料金をもとに自立的な水道事業の経営を行う考え方からは、ビジネスを水道事業体と商社が協調し、工夫してやり方を考えていく余地は十分にある。」との説明を行いました。これを受けて山田顧問からは、「商社と事業体とを結びつけるのは、役所のOBの役割ではないかと思われ、そういう点からも、今後の中部フォーラムのありかたを考えていきたい。」との発言があり、提言を踏まえた今後の展開に一つの道筋が開かれました。中部フォーラムは2011年～12年にかけてJICAのBOPビジネス準備調査を受託実施しており、今回のセミナーはその経験と「提言」を重ね合わせて今後を考える機会にもなりました。

（QRコード参照）

雑誌「水道公論」の掲載記事

2019年10月号からは、海外水ビジネスの要点を探るとして、提言報告会の特別シリーズが始まり、11月号も発行されました。水道公論への連載状況は右下のQRコードからご覧ください。

（幹事会通信）

海外水ビジネス研究会のホームページの「3年目の活動」を紹介したページにジャンプすることができるQRコードを設定しました。記事の中で「QRコード参照」と書かれた記事の詳細は、このページ右側のQRコードを読み取って表示されるページをご覧ください。なお、QRコードを読めない方は、直接、<http://weri2013.jp/profile1001001.html>を入力し「3年目の活動」をクリックして専用ページに進んでください。

